

タイトル：モチベーションを上げるには？と聞かれるけど・・・

今日は「モチベーション」の話題です。

よくセミナーなどで、「モチベーションを上げる」や「やる気を引き出す方法」などがありますが、個人的には「モチベーションは高くなくても仕事はできる」と思っています。

逆に考えると、仕事にモチベーションはあっても、なくてもどちらでも構わないとすら思っています。

そりゃあ、モチベーションはあった方が良いです。

ただ、なくても大きな問題にはならないと思っています。また“私”が思う「モチベーションが高い状態」と、“相手”が思う「モチベーションが高い状態」に違いがあるため、「〇〇さん、モチベーションが低いよね？」

という状況でも、本人からしたらやる気満々だったりするわけです。周りの人は、相手のモチベーションの高さを知ることはできません。

仕事柄、多くの経営者や部下を持つ方にお会いする機会が多いです。

その時に必ず話題になるのが、人材の採用と教育。そして、社員のモチベーションをいかに上げるか？です。

これらに苦慮して悩んでいる人が多いです。

私が思うに、“本人”がモチベーションを上げたい、とかモチベーションについて、何か問題意識を持っていないと正直、上げるのは難しいと思います。

モチベーションというのは、あくまでも、本人の内側から湧いてくるもの（内的要因）であって、セミナーに行ったからといって、上司が指導したからといって、給料を上げたからといって（外的要因）、どうなるものでもないと思っています。

外的要因によって一時的には上がります。しかし、すぐに戻ります。なぜ、戻るかですか？ 例えばお給料を上げたというのは、その時は「上がった」なのですが、すぐに「日常=当たり前」になるからです。

私個人としては「仕事の結果=成果」さえ高い位置で保ってくれば、モチベーションが高いとか、低いなどは影響はないと思っています。

よく「わたし、頑張っています」、「わたし、やる気あります」と言う人がいます。とても良いことだとは思いますが。ただ、その想いと仕事の結果が、釣り合っていないケースも多々あります。

むしろ私は、こういったモチベーションよりも「プロ意識」の方が大切だと思っています。

どんな仕事でも、プロ意識の有無、プロ意識の高さにより、仕事に対する姿勢も仕事から得る結果も異なってくると思います。そこにモチベーションの高さや低さはあまり関係がないと思います。

プロ意識も本人の自覚が重要ですが、教えることができます。

会社でいえば「当社の常識は〇〇です」、「当社の品質は〇〇の位置です」、「品質がこの位置になるようにしてください」。

教育と環境でプロ意識は育っていくと感じます。

部下のいる人もいない人も何かのご参考になれば幸いです。

最後に余談となります。

この写真は、私の甥のひろちゃんです。数年前の写真です。3歳くらいでしょうか・・・。



このようなやり取りがありました。

私： この人、だあれ？（私を指差し）

ひろ： しらな〜い。

このようなやり取りが数回ありました。

1,000 円札を見せて・・・

私： この人だあれ

ちふみ、おばちゃあ〜〜ん

即答で、かつ絶叫でした。

（名前、覚えてるじゃん）

お金という外的要因です。お金により「おばの名前を言う」というモチベーションが上がったみたいです。